

シリーズ **土地改良** のあしあと **芸濃北部土地改良区** (津市)



芸濃北部全景

本地区は、三重県のほぼ中央部に位置する津市の西部で、西は鈴鹿山系を隔てて伊賀地域に接する芸濃町の中央部に位置し、安濃川と志登茂川に沿って展開する水田農業を主流としている地域です。

地形は沖積平野で、水利状況は安濃ダムからの用水が大部分で、ため池3ヶ所(東奥の谷池、三谷池、横山池)から取水しています。

本事業地域は、耕地は狹隘にして不整形、道路網は極端に悪く用排水路は兼用であり、近代農業には程遠く、かねてより念願のほ場整備事業の機運は高まり、平成元年8月に土地改良区(受益面積171ha、組合員数310名)を設立し、同年9月から県営ほ場整備事業に着手し、平成15年3月に完了しました。

耕地区画は3,000～6,000㎡区画形状で、横山池からの



取水源である東奥の谷池



地区内農産物直売所

用排水整備(パイプライン化)や農道網の整備により経営規模の拡大や合理化が進められ、労働生産性の向上、維持管理の節減も行い地域農業の向上も図られました。

平成21年度から地震対策ため池緊急整備事業として東奥の谷池の堤体、取水施設等の改修が実施され、完了もまじかで防災機能強化による生活の安心安全、農業経営の安定が図られると期待しております。

地区内には、農産物直売所(ムクムクマルシェ)も出来、農産物の地産地消に貢献しています。

高齢化による担い手不足のため耕作放棄地農地が増える傾向にある中、担い手組合(クリエイトファーム)が中心となって農作業を実施しており、農地の荒廃を防いでいます。

また、平成24年度には、農地・農業用水等の保全管理活動組織として椋本農地水保全管理組合も立ち上げられ、地域農業の活性化に寄与しています。